

大井第一 マイタウン 23

第 79 号
発行連絡先
大井第一地域センター
電話 3761-2000

R100

古紙配合率 100% 再生紙
を使用しています。

地区委員会事業

2007 子どもフェスティバル



去る二月十日（土）、南大井文化センター、みなみ児童遊園において“二〇〇七子どもフェスティバル”が行われました。天気と三連休の初日ということもあり、人出が心配されましたが、午前十時の開始と同時に、小学生を中心に人が集まり出しました。

二階では、やかんカーリング、フィルムケース積み、ベーゴマ、けん玉、三階では、ストラックアウト、サッカーゴール、そして中学生主催のチョコQ、輪投げ、玉入れに長蛇の列が出来ました。焼きそば、豚汁、お汁粉の模擬店も盛況で昼過ぎには完売でした。

中学生スタッフ四十九名はオレンジ、



先生方やPTAの皆さんは地区委員と同じ青の新調したスタッフジャンパーを着て、地域の一員として、一日中一生懸命楽しそうに活動してくださいました。終了時間を過ぎてもストラックアウトは人だかり……。子どもフェスティバルは、子ども四三〇名、大人一七〇名、合計約六〇〇名参加で大盛況のうちに終了しました。

また、みなみ児童遊園では今年初めてボーイスカウト育成者の皆さんがモンキーブリッジで参加してください、子ども達はスリリングな橋に大喜びでした。

ガンバレ 鮫浜小学校

北浜川仲町会 福本章生



昨秋開校百三十周年を迎え、大井第一地区で最も歴史と伝統のある鮫浜小学校。卒業生の私は、地域と学校のパイプ役としてかわり合えたことを誇りに思っています。

品川区の新しい教育方針から始まった小中学校の学校選択制により、鮫浜小は遺憾ながら小規模校となってしまうました。私の住んでいる北浜川仲町会では、昨年度の新一年生十一名中、立会小五名、浜川小五名、鮫浜小一名と地元小学校に対する愛着心の欠落に唖然とさせられました。鮫浜小の学区域全体でも親子四代、五代続いた家庭が地域外の学校へ流出する現状を見て残念でなりません。



小学校六年間は、地域行事、連合運動会や地区委員会事業の参加活動に大切な時期です。

当町会の会長が学校行事に出席するのは鮫浜小学校です。入学式のお祝いに出かけても町会の子どもは一人だけ、淋しい限りです。

全校で百三十四名、各学年一クラスの小規模校の特徴を活かしてイメージアップを心がけ、伝統と歴史の鮫浜精神を継承してほしいものです。

鮫浜のスポーツクラブには野球の鮫浜タイガース、鮫浜サッカークラブ、女子バレーの鮫浜JVCが存在し、活躍しています。大変うれしいことです。育成者の方々は本当にご苦労様です。

可愛い子どもたちのため、これからも末永くご指導下さいますようお願いいたします。

町内を清掃しよう

南大井第四町会から

私達の町会では九年前に町内清掃、通称「クリーンキャンペーン」が現町会長（高林連合町会長）の発案で発足し、昨年九月には百回目を迎え地域になじんできました。

そもそもの発想は、地域の

清掃はもとより町内のコミュニケーションがとれる事はないかと発足しました。今では町会役員をはじめ、町内の方々、ボランティアの皆様など、多くの人達が参加するようになりました。毎月第三日曜日には「ほうき、ちりとり」を持参した人々が集まります。会長の発案が浸透し、参加者のコミュニケーションも図られるようになりました。一軒一軒の家がゴミに対する認識

を確立して環境美化に努められればと思います。

昨年十月には百回目を記念し、関係各位の多数のご臨席を賜り盛大に祝典を催すことができ、今まで以上の期待を募らせました。また、この環境美化に対して町会が環境大賞を受賞したことも誇りに思っています。

この「クリーンキャンペーン」の輪が他の町会へと広がり、やがては品川区全体の定例行事として広まっていくことを期待しています。



都南病院のあとに

大井立会町会から

都南病院の跡地（東大井五丁目、立会町会）に高齢者福祉施設と品川保育園との複合施設の工事が平成十九年九月より始まり、二十年十二月に完成する予定です。

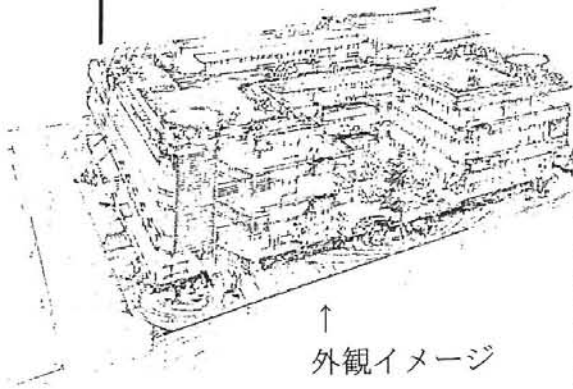
三階建ての施設が建設され、一階には品川保育園が移転して一〇〇名の園児が入園する予定だそうです。

二階・三階に入居する高齢者複合施設は、周辺の高齢者が安心して施設を利用できるようにと、高齢者に適合したサポート施設です。大井町駅東口から建設予定地までの、道路状況の問題点、道路上の障害物、歩道の段差など、歩行者や車椅子利用者の立場になり、実際に道路を歩いて点

検して、課題や対応策を検討しております。

これからは、このような施設を活用して高齢者の子が高齢者の親を介護するなどの老々介護の時代です。少しでも介護をする人の負担を軽くし、デ

イサー
ビスな
どを大
いに利
用した
いと思
います。



↑ 外観イメージ

→ 建設予定地

次世代に繋げる初午祭

大井元芝町会から



去る二月十八日、梶原稲荷

神社の初午祭が、元芝・関ヶ原両町会によって執り行われました。前日より準備が始まり、神社と梶原会館とを両町会役員が念入りに掃除をします。昨年の旗から今年奉納された旗に取り替え終わると、準備は一段落となります。

当日は、朝からお囃子の音が町に響き渡り、祭りの雰囲気を感じます。午後からは総代・役員が列席し、宮司

さんの祝詞によって初午祭の儀式が厳粛に斎行されました。

その後、子ども達にはお菓子が配られました。日頃より会館で熱心に練習を重ねている地域の若者達による見事なお囃子に合わせて、獅子舞や天弧の舞が披露され、心の安らぎを感じる初午祭が終わりました。

毎年、初午祭は講中の厚い信仰を受け、このような形で執り行われています。明治以前は、神徳を慕って参詣する人も多くいたそうで、青物横丁付近より現在の地まで参道が続いたと伝えられています。このような由緒ある地域に住む子ども達に、地域行事に参加する楽しさを知ってもらい、次世代の担い手として育ててほしいと初午祭を通して願うものです。

団塊世代の地域デビュー 活動拠点がオープン



今年から団塊世代の定年退職が始まります。これまでの仕事中心の生活から、地域社会に積極的に参画していただく手助けにと、また、ボランティアなど地域活動の拠点として、「いきいきラボ関ヶ原」が二月五日(月)にオープンしました。運営は、「しながわシニアネット」。ぜひご利用ください。

〔所在地〕 東大井六・十一・十一

〔関ヶ原シルバーセンター二階〕

〔電話〕 6902-0025

小・中学校の卒業式と入学式

【卒業式】小学校 3月23日(金) 【入学式】小学校 4月6日(金)
中学校 3月20日(火) 鈴ヶ森中 4月7日(土)
浜川中 4月9日(月)

○管内の小・中学校の卒業生・新入生は、次のとおりです(2月現在)

	鮫浜小	立会小	浜川小	鈴ヶ森小	浜川中	鈴ヶ森中
卒業生	27	73	69	58	64	165
新入生	26	100	60	84	117	131

さくらまつり開催

大井第一町会連合会主催の春の「第十四回さくらまつり」が皆さんのふれあいの場として今年も行われます。

各町会の模擬店が皆さんをお待ちしています。恒例の福引もあります。桜の下で充分に楽しんでください。

〔日時〕 四月十五日(日) 午前十時より

〔場所〕 みなみ児童遊園

みんなでお花見

模擬店、フリーマーケット、遊びの広場などがあります。皆さんのお越しをお待ちしています。

〔日時〕 三月二十四日(土) 午前十時より

〔場所〕 浜川公園・浜川小学校校庭

〔主催〕 みんなでお花見実行委員会

||||| 編集 後 記 |||||

本号が届く頃には、全国各地で桜の開花便りが聞かれます。花見を楽しんでください。

四月は都知事選挙・区議会議員選挙があります。皆さん、投票に行きましょう。

(編集委員一同)

大井第一

マイ・タウン 23

第80号

発行連絡先

大井第一地域センター

電話 3761-2000

R100

古紙配合率100%再生紙
を使用しています。

正副会長研修会を開催

「明日の品川にむけて」

六月十六日(土) 南大井文化センターにおいて、大井第一町会連合会(高林正敏会長)が研修会を開催しました。

はじめに、「品川区六十年のあゆみ」と題した区の広報ビデオを上映しました。続いて、区から企画部企画財政課長の日下部隆氏を講師に迎え、『明日の品川にむけて』というテーマで講演を行いました。

区政六十年の歩みを振り返る

ビデオでは、第二次大戦後の品川区があゆんできた六十年の歴史を当時報道された記録映画等により構成し、わかりやすく報じていました。

昭和二十年代から三十年代を第一期、四十年代から五十年代を第二期、五十年

代から現在を第三期とし、鏑木初代区長から五代目の高橋前区長までの歴代区長が行ってきた区政の実績を当時の時代背景を織り交ぜて紹介しており、品川区が時代の変化に即応し、機動的で柔軟性のある区政を行ってきたことがよくわかる内容でした。

また、濱野新区長が六代目の区長に就任し、これからの新しい品川区の未来に向け、区の将来計画の実現に期待する旨の内容で締めくくっていました。

変化の時代に新たな挑戦

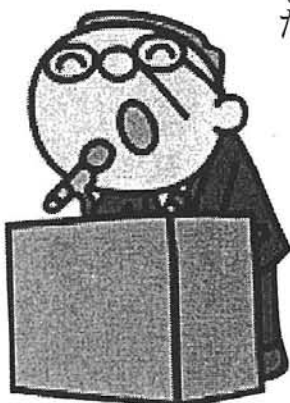
少子・高齢化や地球環境への対応など二十一世紀という変化の時代において、これからの品川区は、重点的に取り組ん

でいくべき施策や事業を長期的な視点に立って計画し、対応していくことが求められています。

引き続き行われた講演において、日下部企画財政課長はこうした区政を取り巻く様々な環境の変化を踏まえながら、今後の区政運営についての課題と展望をわかりやすく話されました。

内容は、品川区は高橋前区長の時代から他区に先駆けて、変化の時代に対応できるような、健全財政を進めてきた実績があること。さらに、こうした区政のスタンスを濱野区長が引き継ぎ、区民や事業者とのパートナーシップを大切にしながら、今後の区政を推進していくための指針となる「長期計画」を現在、固めつつあることなどを話し、参加者は熱心に聞き入っていました。

正副会長研修会



街に生きる

新町会長紹介



今年七町会が新町会長になりました。鮫洲曙町会・大井南浜町会・大井元芝町会・北浜川西町会・林睦会・勝島公務員住宅自治会・大森駅前住宅自治会、以上です。



(後列左から) 増原さん、福原さん、山下さん、國分さん
(前列左から) 藤平さん、宮川さん、山田さん

鮫洲曙町会

山田 由美子さん

(ご本人からの寄稿です)

会長代行の山田と申します。今年の総会で町会長が決まらず、役員挙げて町会長に適役の方を探しているところですが、不在ということは何事にも支障が出るということで事務局的な役割と思い、お引き受けいたしました。

この町に住んでまだ日が浅く、町会との関わりも一年半程ですが、ご高齢の方々から教えていただくこともたくさんあるので楽しく町会活動に参加しています。

趣味は手芸で、また、知的障害の方への支援をライフワークとしています。

一緒に町会を盛り上げてくださる方がいらっしやいましたら、ご一報ください。

大井南浜町会

藤平 常哆さん

今年五月よりわが町の町会長になられた藤平常哆(つねはる)さんは、昭和十一年一月二十六日南浜町会生まれの三代目。バリバリの地元っ子。浜川中学校卒業後、現在に至るまで、左官業一筋に歩んでこられました。

三十八年間消防団に従事し、大井消防団副団長を最後に勇退されました。その永年の功績により、平成十九年四月二十九日瑞宝単光章を授与されています。

長年「動く副会長」として活動されてきた藤平新会長は、「町会老若男女みんなが集まって楽しく行事や、活動が出来るよう常に心がけていきたい」といつもにこやかな笑顔で語られていました。

大井元芝町会

山下 克己さん



永年の功績を重ねた前会長の松井雄治さんより引き継ぎ五月に町会長とられました。昭和十三年に五人兄弟の末っ子として元芝で生まれ、不動産業を営んでいます。地域活動に忙しい奥様と二人三脚で活躍され、若々しさと優しいお人柄が伝わりました。

趣味は旅行、ドライブ、釣り、いきいきラボ関ヶ原での筋力トレーニング・ストレッチ・脳トレ等に参加し心身を鍛えていらっしゃるということです。

誠実、感謝を心がけ、高齢者に優しく、若者や子供達には明るく楽しく開かれた街づくりでありたいと。新しい息吹をいっぱい感じました。

北浜川西町会

福原 忠吉さん

『親しみの持てる町に』

昭和十二年新潟県生まれの丑年、幼少の頃は野山を駆けめぐるわんぱく坊主だったが大人には可愛がられていたそうです。

家族と共に昭和四十八年に東大井に居住。ちょうど餅つき大会の時で、つき方を教えたのが縁で町会へ参加。その時に居心地の良さを感じて以来、お手伝いをさせて頂いていますとの事でした。

今後の抱負を伺いましたところ、「昔、感じたあの頃の良さを少しでも多くの方々にと思い、風通しを良くし、親しみのもてる『和』を作る努力をするのでご協力をお願いしたい」と熱く語られました。趣味は読書とのことでした。

林睦会

國分 勇さん

國分会長は昭和二十一年、

西品川生まれの六十歳です。平成十四年に林睦会に移住し、地域と交流を深めるため町会の仕事を始め、昨年十一月に開かれた臨時総会で会長に選出されました。

お仕事は東京ガスの関連会社で道路工事の際にガス管を管理する仕事を定年まで務めたそうです。

新会長として「山崎前会長の意を引き継ぎ、町会・地域活動を行います。好きな言葉は『心』。何事も心で対応していきたいと思っています」と力強さを感じました。

最近は国会で激論されている年金問題が大変気になっているそうです。



勝島公務員住宅自治会

増原 光さん

『来年三月で住宅が廃止』

昭和二十六年広島県の北東部に位置する庄原市生まれの五十六歳です。干支は卯。

国家公務員という職業柄、全国規模の転勤が多く、東京へは単身赴任で、又、現在の勝島に居住して四年目との事。土曜日には朝早くから近くの大田市場へ、ビールの美味しい肴を求めて出かけ、時には趣味の競馬に行ったりと単身生活を満喫している様子で、勝島の土地に住めたことを満足しておられました。

しかし、公務員住宅は来年三月をもって廃止が決定しており、「今後は居住者も減り、自治会活動も十分に出来なくなるので残念」と寂しげに話をされた事が印象的でした。

大森駅前住宅自治会

宮川 瑛子さん

昭和七年韓国の普利生まれの七十五歳。終戦で父の故郷の和歌山へ帰国、高校生の時に父の仕事の関係で福岡県に移住。結婚で上京、昭和四十五年は大森駅前住宅へ入居。

自治会の総務部・青少年対策地区委員を務め、地域の人達との交流が始まりました。平成十三年から十八年まで副会長、本年の自治会長（地域対策理事）に管理組合の総会で選出されました。

趣味は高校時代にピアノ、トを目指し特訓したピアノ、好きな言葉は「ローマは一日にしてならず」。「自治会・地域活動も人々の協力で続けて行くことが大切、地域の一人として頑張ります」とおっしゃっていました。

今後の自治会の

あり方について

大森駅前住宅自治会から



大森駅前住宅は、昭和四十五年に東京都住宅供給公社の三十五年償還長期分譲住宅として作られました。

平成十七年に全七百五十九戸の償還が満了し、公社が管理者として住宅管理・運営をしてきましたが、今年の四月から管理会社も変わり、大森駅前住宅管理組合がスタートすることになりました。

自治会としても管理組合設

立にあたって、昨年から今後の自治会のあり方について、自治会員の皆様と共に取り組んできました。

駅前住宅は、少子高齢化と

いうこともあり、将来的に次世代を育成していかなければ、自治会の運営困難も生じる可能性もあり、今年の四月から誰でもできる自治会・開かれた自治会を目指して、新体制をスタートしました。

今までは、選挙制で決めていた正副会長を各フロアの代表委員から互選で決め、今まで行っていた自治会役員の仕事も委員が行います。

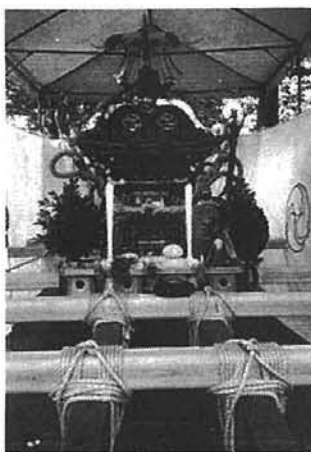
そうすることによって、親睦が深まり、「安全・安心の街づくり」に協力する意識が高まります。頑張りますので、宜しくお願い致します。

『濱川大神興再興』

三十周年記念

渡御のお知らせ

大井南浜町会から



戦争中に供出された『濱川大神興再興』が、南浜町会員はじめ、多くの方々の長年の願いが叶い、昭和五十三年再興されました。当時は再興を記念し、トラックで大神興を伊勢神社まで運んで五十鈴川を渡り、宮内を大勢の人達で担ぎました。

それから早や三十年・・・再興に尽力された方々の多く

はすでに故人となられてしまいました。その熱き思いは、毎年大神興を担ぐ人々に受け継がれています。

そこで、再興三十年を記念して左記の日程で、渡御を行います。

△記▽

八月三日（金）

午後十時より 宮出

午前一時終了

八月五日（日）

午後四時北陸前宮入出発

午後八時 終了

南浜睦会会長竹内稔浩さんは、「南浜町会の皆さんはもちろん、神興を愛する多くの皆さんに是非一緒に担いで、三十周年を祝っていただきたい。一人でも多くの参加をお願い致します」と準備に余念がありません。

品高連「関寿会」の

名称が「元関寿会」に変更

大井元芝町会から



去る五月二十九日、関ヶ原シルバーセンターにおいて、関寿会総会が開催され、一三名の会員中八十五名もの方が参加され、盛会のうちに閉幕しました。

関寿会は関ヶ原町会が三十年以上前に立ち上げた会で、十八年度からは関ヶ原町会と同等の助成をすることで、高齢者クラブのない元芝町会も協力し、「元関寿会」と名称を変更することになりました。

関寿会恒例の新年会、日帰り旅行、年に二度開催される

芸能のつどいに加え、名称変更に伴い、今回から新たに毎月一度の茶話会を開催することが決定しました。

会員の中には一人暮らしの方々も多く、つい家に引き籠りがちになり、咳をしても一人、骨の凍るような寂しさ等、家族のいる家庭では想像できない孤独の中にいます。

こうした方々が友人に誘われ、色々な活動に参加されるうちに、お仲間達との交流を通して、生きがいを見出されていく方が多くなっています。

高齢化社会の現在、行政、町会などの支援と住民力、それに高齢者同士の交流から生き生きとした毎日を過ごしてほしいと願うものです。

関寿会恒例の新年会、日帰り旅行、年に二度開催される

芸能のつどいに加え、名称変更に伴い、今回から新たに毎月一度の茶話会を開催することが決定しました。

会員の中には一人暮らしの方々も多く、つい家に引き籠りがちになり、咳をしても一人、骨の凍るような寂しさ等、家族のいる家庭では想像できない孤独の中にいます。

こうした方々が友人に誘われ、色々な活動に参加されるうちに、お仲間達との交流を通して、生きがいを見出されていく方が多くなっています。

高齢化社会の現在、行政、町会などの支援と住民力、それに高齢者同士の交流から生き生きとした毎日を過ごしてほしいと願うものです。

『私達の町会活動』

大井寺下町会から

私達の町会は、毎月第三土曜日に定例役員会を開き連合

町会各関係機関からの情報を伝達し、協議を重ね活動が円滑に進むよう努めております。その都度、連合町会会議の資料を抜粋し議案、活動報告等の資料として配布しています。

また大井警察署、警視庁から配信される「安全安心ニュース」等も適宜コピー配布し、各々の情報を伝えていきます。

防犯一支部、一活動の一つに毎月役員会の三十分前に集合し、防犯ベスト着用、警笛、懐中電灯片手に町内のパトロールを行ってまいります。男女数名、二〜三組に分かれ暗い裏通りを重点に回っています。

また、暗がりの駐車場も注意して回っています。

防犯協会からの青色パトロールカーの運用も、月一回を目途に防犯役員が中心となり、全役員一体となって大井第一地区全体を巡回し、犯罪予防を呼びかけていきます。

車上ねらい、ひったくり等多発している最近です。私達の地域はこれらの活動が犯罪抑止に繋がり、地域の方々に喜ばれる様にと期待して頑張ります。

私達の住む街が安全・安心して住み良い街となる様、これからも活動を続けていきたいと思えます。



みんなで町をきれいに

美化キャンペーン



本年度の大井第一地区美化キャンペーンモデル地区には、大井南浜町会・鈴ヶ森町会が指定されました。

六月十日(日)午前十時より、みなみ児童遊園で各町会長・来賓出席のもと式典が行われ、町会連合会浅野副会長・品川区清掃事務所島袋所長・中山地域活動課長の祝辞を頂き又、モデル地区代表より本年度の美化活動計画が発表され、本年度の美化キャンペーンがスタートしました。



大井第一地区管内

小・中学校

校長・副校長先生紹介

小学校

・ 鮫浜小学校

校長 桑野 貴文 (新任)

副校長 五関 正治

・ 立会小学校

校長 星野 豊

副校長 阿部 哲夫

・ 浜川小学校

校長 並木 玲子 (新任)

副校長 杉山 直道

・ 鈴ヶ森小学校

校長 佐藤 勝 (新任)

副校長 島村 博

中学校

・ 浜川中学校

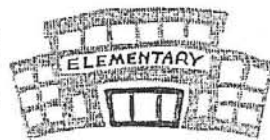
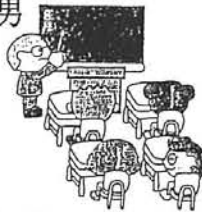
校長 山田 充男

副校長 吉村 雄二 (新任)

・ 鈴ヶ森中学校

校長 海老沢 友保 (新任)

副校長 細越 政道



地区委員会事業

品川区の早川町交流事業が今年は大井第一地区委員会が担当になり、七月二十八、二十九日一泊二日の日程で小学二年生以上の子ども達、スタッフ総勢百名で山梨県早川町に行つてきます。

地区委員会では昨年十二月から実踏を重ね、全力で準備に取り組みました。現地では、カヌーやそば打ち体験、野外炊飯や、キャンプファイヤーと盛り沢山の体験で、夏休みの楽しい思い出作りができると思います。

鈴ヶ森・鮫浜小学校プール一般開放

日程 7月21日(土)～8月12日(日)

・ 問い合わせ先

生涯学習課 ☎5742・6838

編集後記

本号が皆さんのお手元に届く頃にはうつろしい梅雨も明けていると思います。楽しい夏休み、神社の祭礼もすぐです。ご家族、友人と帰省やキャンプ等を夏バテに気をつけて充分に楽しんで下さい。

(編集者一同)

大井第一

マイ・タウン 23

第81号

発行連絡先
大井第一地域センター
電話 3761-2000

R100

古紙配合率100%再生紙
を使用しています。

安全で安心して生活できる地域づくりのために 地区総合防災訓練を実施

九月一日は防災の日です。大正十二年同日午前十一時五十八分に発生した関東大震災にちなんで、全国で防災訓練が行われました。大井第一地区では、九月九日(日)に地区防災協議会の主催により大井競馬場第四駐車場において、総合防災訓練を実施しました。

直前の二日前、台風九号が首都圏を直撃し、大荒れの天候となったばかりで、残暑の厳しい天候にもかかわらず、地区内の二十三町会・自治会が参加し、約千三百人が集まりました。

応急救護訓練や初期消火訓練を熱心に行い、起震車やはしご車の試乗体験、ミニ消防車での記念撮影などに参加しま

した。また「レスキュー体験」では、各町会から選出された代表者が、倒壊家屋からの人命救助を想定し、チェンソーやボールなどを使用して救出する指導を消防署員から受けました。

最後に、日頃の訓練の成果を披露する地区内のミニポンプ隊(一隊四人十三隊)、区民消火隊(一隊六人十一隊)、大井消防団第二分団による一斉放水があり、見事な動きに声援と拍手が沸き起こっていました。

台風や大地震の被害は甚大で、生命と財産を失ってしまうほか、生活基盤まで覆されてしまいます。被害を最小限に食い止めるためには、「自分達の町から被害

者を出さない」との町ぐるみの防災意識を高めていくことが大切です。日頃から家庭や地域での備えを心がけましょう。



南大井文化センターからのお知らせ

十二月一日から来年三月末まで南大井文化センターは空調工事を行います。

小さな祭りの大きな主役

大井関ヶ原町会



八月四日、『ドンドンカツカツカ』山車の太鼓の音、「ワツシヨイ〜」と黄色い声の子供神輿、この夏は例年より梅雨明けが遅れ、やっと大きな太陽が顔を出した二日目の朝。今年の祭りは『陰』しかし、関ヶ原町会・元芝町会の本祭りに比べて規模は半分でも『町興し』又『子供達に楽しさを』をテーマに開催。家の軒下に提灯は無いけれど、気

持ちは最高の御祭り気分。

ところで祭りの開催には御神酒所設営や山車・神輿の組立てなどと色々大仕事。年々行事手順を知る人が減って現在は平均年齢五十八歳「青年部？」が中心に活動。

朝十時、山車・神輿が元気に出発進行！子供神輿は町内の野球チーム『ハヤブサ』に所属する子供達、それを指揮する監督とコーチ達も共に奮闘。そんな行軍の途中、休憩場所で飲んだジュース・アイスクリームが美味しかったこと。子供も大人も楽しそうに満足感一杯の顔に我々も笑顔。そして思ったことは、十年・二十年後もこんな行事を子供達が引き継いでいってくれたら素晴らしいだろうと。その時我々は杖を付いて見物側より応援します。

納涼祭を終えて

大井海岸町会



食べた焼きそばは格別に美味しかったです。

天候に恵まれた八月二十五日・二十六日に大井海岸町会の納涼祭が行なわれました。昨年より婦人部に参加して初めての納涼祭でしたが、町会の方々のご協力により、あつあつのタコ焼き、上手に焼けているイカ焼き、空腹の中、盆踊りも初めのうちこそ、皆様遠慮してまばらな輪でしたが、炭坑節・東京音頭・品川音頭と耳慣れた曲が流れてくると、段々と輪が広がり小さな子供達から老若男女の皆様方で大いに盛り上がり楽しいお祭りでした。婦人部で今年初めてのお揃いの浴衣も出来てとても良かったと思います。踊り疲れて飲むウーロン茶・ビールも最高の味でした。楽しかった納涼祭も終わってしまいました。今年参加出来なかった方達のためにも来年はもつともつと趣向をこらして楽しい納涼祭にしたいと思っています。そしてより多くの方達と一緒に踊りたいと思いますので、是非いらして下さい。

ラジオ体操が復活

勝島町会



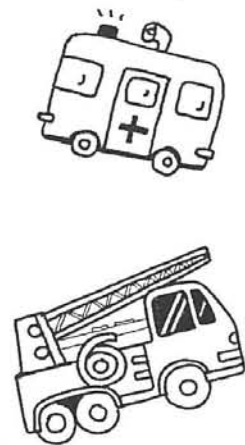
十三年振りにラジオ体操が復活しました。当時は、子供が大勢いたので子供を中心としたラジオ体操でしたが、今年からは中高年者の参加もあり八月二十日から三十一日まで、大井競馬場第四駐車場において行われました。
岡町会長にラジオ体操の感想を伺ったところ「第二体操

はあまり馴染みがないので第一だけ行ったが、真剣にやると結構いい運動になる。二日目は日頃の運動不足のせいかあまり使わない筋肉や筋が痛かった」と苦笑いして話されました。

今年は何年にもない暑さで、朝の六時半といえども気温が高く、ラジオ体操を終えた参加者らはひと汗かき、身体が心持ち軽くなったように見え帰宅の足取りが軽やかでした。写真はラジオ体操最後の三十一日に行われた『スイカ割り』の様子です。目隠しをしたお子さんが、周囲の人々の声援に従い、やっとなスイカに辿り着いたところでした。結果は見事に命中。割れたスイカは良く冷えており、談笑しながら皆で楽しく食べている光景が見られました。

大井第一地区防災訓練

東大井月見台町会



昨年より一週間遅い九月九日(日)、大井第一地区の防災訓練が行われ、月見台町会からは二十四名が参加しました。最近町の各所で目にする『AED(自動体外式除細動器)』の訓練では実際にガイダンスしてくれる音声を聞くことが出来て、「これなら私でも

使えるかも」という声とともに真剣にデモンストレーションに見入っていました。

次に移動した起震体験車は、大変人気があり、乗車しての体験は出来ませんでした。が、初期消火訓練には半数以上の参加者が挑戦しました。これまで何度も訓練に参加されているベテラン組は消火器を持つてから放射するまでの時間が短く、手際の上は訓練でかなり違うものだ実感しました。

消防署のレスキュー隊員の方のきびきびとした優しい対応に子供達も大喜び。「参加して良かった。また来たい！」と感じてもらえたのではないのでしょうか。

来年はさらに涼しい時期に実施されるかも?という期待を胸に一同帰途につきました。

地区委員会早川町交流事業

『大自然で遊ぼう』ルポ



七月二十八日、真夏の太陽に負けない位元気な子供達十七名は、心配された車酔いもなく無事に第一目的地クラフトパークに到着。広い園内にある人工池には、カヌー初体験の子供達の歓声が響きわたりました。

早川町ヘルシー美里は学校

跡地とあり、広い芝グラウンド

にレトロな佇まいの本館と、木々の間にバンガローが点在する素敵な宿舎です。お迎えして下さった早川町の親子の方々と挨拶を交わして交流が始まりました。夕暮れの澄んだ空気の下、協力して作ったカレーライスとフルーツポンチを二杯三杯と頬張る子供達に、ちよつとお疲れ気味の大人たちの頬が緩みます。

歌って踊って仲間や地元の方々と交流を深めたキャンプファイアー後は、硫黄香漂う温泉で汗と疲れを流しました。ラジオ体操で目覚めた二日目、季節の収穫豊かな野道をぬけて川遊びへ。冷たく澄んだ水流の面白さに時を忘れて戯れました。

最終挑戦は初めての蕎麦打ち！真剣に打ち上げたその味

は微妙でしたが、決して忘れられない味になりました。

閉村式ではみんなの笑顔と参加記念Tシャツのオレンジ色が早川町の大自然によく映えたこと！家庭とも学校とも違う集団で過ごした二日間の思い出が子ども達の心に刻まれたら、それこそが地区委員最高の喜びです。

【みんなで参加しよう】

☆親子いも掘りハイキング

〔月日〕十月二十八日(日)

雨天の場合は中止

〔場所〕神奈川県津久井浜

☆子どもの主張発表大会

管内小中学校六校の小中学生が、将来の夢・希望について発表します。

〔月日〕十一月十日(土)

〔時間〕午後二時より

〔場所〕南大井文化センター

二階レクホール

☆子どもフェスティバル

毎年二月に行われる子どものお祭り。本年は南大井文化センターの空調工事のため、左記の日程で行われます。

〔月日〕十一月二十三日(金・祝)

〔時間〕午前十時より

〔場所〕南大井文化センター

※詳細はポスターでお知らせします。



||||| 編集後記 |||||

連日三十度を超す暑い夏も終わりました。

行楽のシーズンです。ご家族や友人と楽しいプランがあると、思います。充分に楽しんで下さい。味覚の秋、食べ過ぎにはご注意ください。

編集員一同これからも良い

紙面づくりに頑張ります。

(編集委員一同)

大井第一

マイタウン 23

第82号

発行連絡先

大井第一地域センター

電話 3761-2000

R100

古紙配合率100%再生紙
を使用しています。

「親子いも掘りハイキング」

秋にはスポーツの秋や読書の秋等あ

りますが、やはり天高く馬肥ゆるが一番、

十月二十八日(日) 大井第一地区委員会

主催の親子いも掘り大会が京急津久井浜

にて行われました。参加者百五十名、み

なみ児童遊園に七時三十分集合、AとG

七班に分かれ、それぞれの班長からバン

ダナとしおりを配布され、班長の旗印に

伴いグループ行動しました。

前日は台風の影響で大雨天候が心配

されましたが、当日はうららかな晴天。

身も心も洗われる秋日和となりました。

津久井浜駅より、いも畑まで四十分近い

ハイキング途中、富士山が裾野まではっ

きり見え、その素晴らしい景色に皆一同

歓声をあげて喜んでいました。

さつまいも畑では、班ごと一列に並び

リーダーの合図で一斉に掘り始めました。

大きいもの、小さいものを別として一人

三株までとなっており、それはそれは勇

ましく掘っていました。

ただ少し残念なのは、葉やつるがなく、

どのようにさつまいもが栽培されている

のかが解りにくいことでした。現場にて

焼きいもが準備され、ひと口ずつ皆さん

と賞味し、おいしかったです。

重いさつまいもを背にし、津久井浜海

岸まで班ごとに向かい、楽しみの昼食タ

イム、各自それぞれ仲間と囲んで、おい

しいお弁当を味わっていました。



食後、子ども達は、海をバックにボー
ル投げや砂遊びをして楽しんだり、波打
ち際で遊び、服を濡らしたりしてしまし
た。また、日差しが強く、日焼けをふせ
ぐのに必死になりました。

帰りも班ごとに点呼をとり、津久井浜
を十四時三十七分発に乗車し一路。行き
帰り品川第一・第二地区の方々と同車に
なり、車中はにぎやかでした。

十五時三十七分、予定通りに立会川駅
着。地区委員会遠田会長の閉会の挨拶で
無事終了となりました。



八幡神社の宮大神輿の輝き

鮫洲北町会



今年の鮫洲六町会の祭りは秋篠宮悠仁親王殿下お誕生の奉祝と鮫洲祭禮會発足四十周年を祝って鮫洲八幡神社の宮大神輿が発御となった。

久々の宮大神輿、その雄大華麗さは百九拾余年を経たものとは、とても思えない。思わず見惚れたのは私だけか。

江戸時代、この地域は漁業が主体の大井御林浦と云われ

た。大井御林浦とは、江戸城に魚菜類を納めていた御菜八ヶ浦の一つである。

大井御林浦の鎮守鮫洲八幡神社の創立は、嘉永二年（一八四九）造立とある。又、神社の大鳥居は寛政元年（一七八九）の設立である。

この宮大神輿について不思議なことがある。宮出し時、担いで宮出しが出来ないのである。鳥居の貫（ぬき）に当たるのを避けるため、肘持ちで神輿を出来るだけ下げて通らなくてはならない。これは宮出しの見せ場の一つでもあり、成功した時には、観衆から拍手喝采を受けることとなる。担ぎ手の苦しむ様な大きな神輿を作ったのは、御菜八ヶ浦を背負った当時の獵師たちの心意気か。

しかし、鮫洲には若くて元気な鮫洲祭禮會がある。この鮫洲祭禮會が宮大神輿の発御を続けてくれると確信する。

三十周年記念盛大に開催 南大井豊寿会式典懇親会に 九十名が出席

南大井第四町会



十月二十日南大井第四町会豊寿会（狩野宏会長会員百八十名）はアートホテルズ大森にて九十名が出席し盛大に開催されました。来賓には高

林正敏大井第一連合町会長、井上隆夫大井第一地域センター所長、南裕義社会福祉協議

会事務局長、二瓶義正大井警察署生活安全課長、本間隆品川区議会議員、神野吉弘東京税理士会青年部らが出席し、お祝いと激励のご挨拶を頂きました。

三十年の歴史を辿れば高林正丸氏（当時の町会長）の時代に品川区とともに創設され、現代の狩野宏会長へと引き継がれてきました。毎月の資源回収事業清掃作業や学童の登下校時の安全を守る『八・三運動』を始め独自の企画で毎月各種の催し物で参加者の数も増加傾向。

高齢化社会にむけ来年三月末までに『会員目標二百名』を合い言葉として、皆さん元気に活動を続けていきます。



美化活動の

モデル地区となつて

鈴ヶ森町会



平成十九年度の美化キャンペーンのモデル地区として南浜町会、鈴ヶ森町会が指定を受け、六月十日の発会式より毎月第二日曜日を美化運動の日と定め、夏の期間は午前八時に集合し約一時間清掃に汗を流しました。

なお、十一月からは午前九時集合となりました。

町会の役員さんはじめ、幼

児を連れられた御夫婦など、自発的に参加して下さる人達で毎回三十名から四十名の人数となっております。

信号待ちの歩道には、煙草の吸殻が吹き寄せられており、第一京浜の国道沿いには、ペットボトル、瓶、ビニール袋などが植え込み深く投げ捨てられています。

ゴミを拾い出すのも大変です。しかし各家庭、各事業所の前の道路、植え込みなどは神経の行き届いた個々の気配りが感じられます。

美化運動の当番町会としての活動は十年毎に廻ってくる様ですが、普段も高齢者クラブ『ことぶき会』によるゴミ清掃が月二回第一月曜、第三月曜に実施されており、街の美化を常にこころ掛けている町会です。

連合運動会にて

参加することに意義あり

北浜川西町会



十月七日、天気にも恵まれた大井競馬場で連合大運動会が開催されました。

今回初参加者も多数加わって、『勝敗より参加する事に意義あり』を合言葉に、ゼツケン『7』の出場者を見つけるとは大声援を送り続けていま

した。それに気付き、恥ずかしそうに首をすくめる人、手を振り答える人、更に頑張りを見せる人等、テント内に笑顔の輪が広がっていったように見えました。

青空の下、町会で用意したお弁当を食べました。近年、大勢揃って食事をするのが少なくなった為か、よりおいしく感じました。中には他町会のお弁当見学をしてきた人もいたようでした。

食後は広いところでおもいっきり走り廻る子供達や、話に花を咲かせている人達、とても楽しい一日を過ごしているように見えました。

来年の運動会にも『ぜひ参加します』の声をたくさんいただき、役員一同うれしい一日でした。来年の運動会も楽しみにしています。

防災訓練に参加して

大井坂下町会



九月九日(日)、気持ちの良
い晴れの日に、大井競馬場
にて、恒例の防災訓練が行われ
ました。

今年は何年より一週間お
く
らせて下さったので、少し暑
さもやわらいでいる様でした
が、それでも十一時を過ぎる
頃には三十度を超えていたそ
うです。そのような暑さの中
でも中越地震等の影響なのか、

わが町会は例年よりも多数の
参加者がいました。

まずは起震車に乗り、震度
六を体感。そして次は消火活
動。実際に消火器を持ち、ボ
ロ布を燃やしたものを消す作
業をした時は、『思ったよりも
重かった!』との声が聞こえ
ました。その後は救護活動。
包帯の巻き方は、なかなか難
しく、手間取っている方を見
かけました。

最後に、消防団の放水訓練
を見学。わが町会の消防団が
普段とは違う顔に見え、力強
く、頼もしく感じました。

今日の活動は防災だけでなく、
平時の生活にも役立つと
共に、多くの方が参加くださ
ったことで地域のつながりも
更に強まったことと思います。



第十八回子ども主張発表大会

十一月十日(土)、大井第一
地区委員会主催『子ども的主
張発表大会』が南大井文化セ
ンターで開催されました。

当日はあいにくの雨でした
が、それにもかかわらず、応
募総数五十三名のうち選考委
員会で選ばれた十三名の発表
を聴こうと応援に駆けつけた
先生方、友達、家族、地域の
方々の熱気と発表者の緊張感
に会場は溢れていました。

発表者は次のとおりです。

『夢のために今からできること』

鈴ヶ森小五年 櫻井 愛梨

『なにならうかな、わたしの将来』

立会小五年 中谷 奏

『環境問題』

鮫浜小六年 池田 杏莉

『私の夢』

浜川小六年 多田 遥

『作家になりたい』

立会小六年 村松 聡子

『私の夢』

鈴ヶ森小五年 渡来 有利

『家族』

鮫浜小六年 中島 恵海

『一つの言葉』

浜川小六年 一乗 ももこ

『介護士になる』

立会小六年 野田 幸歩

『助けあって』

鈴ヶ森中二年 中澤 航

『本当の幸せ』

鈴ヶ森中二年 小河原 愛

『僕の志』

浜川中八年 伊藤 未来也

『私の志』

浜川中八年 八川 梨紗

編集後記

本号が皆様に届く頃には
ジングルベルが街に流れ、今
年も残りわずかです。
新しい年をご家族でお迎
えください。

(編集員一同)